

## 平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 協立電機株式会社  
 コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 雅寛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山口 信幸  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 JQ

TEL 054-288-8899

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	7,508	—	302	—	319	—	103	—
20年6月期第1四半期	6,704	△1.2	252	4.6	265	4.8	133	6.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年6月期第1四半期	30	23	—	—
20年6月期第1四半期	38	62	—	58

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年6月期第1四半期	18,170	—	7,182	—	38.1	—	2,019	19
20年6月期	15,614	—	7,171	—	44.3	—	2,014	12

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 6,925百万円 20年6月期 6,909百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年6月期	—	—	—	25.00	25.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	14,000	0.1	590	0.4	620	0.0	340	1.1	99	12
通期	28,500	2.0	1,100	11.7	1,150	10.8	600	7.7	174	93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 3,641,000株 20年6月期 3,641,000株  
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 210,968株 20年6月期 210,368株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 3,430,432株 20年6月期第1四半期 3,461,800株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その特記事項

- 上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、資源価格の高騰等による原材料価格の急騰が企業業績に悪影響を与え始めた矢先にリーマンブラザーズ倒産等に象徴される世界規模の金融危機が急拡大、世界の金融市場の混乱が世界の実体経済の減速に影響が及び、さらに円高等も相俟って国内企業の業績悪化懸念及び株価暴落による評価損計上等の形で我が国経済への強い逆風となり、大きな波乱を繰り返す中で、減速傾向を強める形で推移しました。

当社グループとしましては、主力であるインテリジェントFAシステムに対する客先の認知度向上の追い風を活かし、客先の新規投資をビジネスチャンスとして確実に拾うことに努めたこと、「FOCUS 4000」、「FOCUS 5000」、「FOCUS-FX」シリーズに代表される有力新製品投入の効果が現れてきたこと、近年活発に行ってきたM&Aの成果による、子会社業績の向上とグループ全体の効率化等により、順調に推移いたしました。

また具体的施策としましては、平成20年7月にインドに子会社を設立し、インドにて海外での半導体基板検査システムビジネスの拡販を図るとともに、平成20年9月には熊本市に熊本営業所を開設しインテリジェントFAシステムの国内営業力を強化しました。さらに平成20年7月には子会社の協立機械(株)が静岡県菊川市に菊川営業所を開設し、工作機械ビジネスの県内営業網を一段と充実させました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は75億8百万円(前年同四半期比12.0%増)となり、利益面としましては、営業利益が3億2百万円(同19.5%増)、経常利益が3億19百万円(同20.4%増)、四半期純利益が1億3百万円(同22.4%減)となりました。

なお、当社グループの各事業セグメント別概況は次の通りです。

#### <インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、現下の経済情勢にも拘わらず、顧客である製造業で新製品開発、コストダウン並びに生産性向上投資が引続き好調で、当社グループとしても積極的な販売活動と新製品投入による新規需要先の開拓に努めた結果、売上高は22億96百万円、営業利益は1億53百万円となりました。

#### <IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当事業は近年、M&Aを積極的に実施し、業容の拡大を図ってまいりましたが、その子会社群が順調に業績を伸張させており、売上高は51億99百万円、営業利益は2億44百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は181億70百万円で、前連結会計年度末に比べ25億55百万円の増加となりました。これは主として、取引伸張及び割引手形減少による受取手形及び売掛金の増加18億86百万円と短期貸付金の増加4億70百万円等によるものであります。

負債につきましては、負債合計額が109億87百万円で、前連結会計年度末に比べ25億44百万円の増加となりました。これは主として、取引伸張による運転資金の増加を借入により調達したため、短期借入金金が26億円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、71億82百万円となりました。

#### ②キャッシュフローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し8億18百万円となりました。当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次の通りです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、19億48百万円となりました。これは売上高の伸張及び割引手形減少による売上債権の増加が18億86百万円あったこと等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億58百万円となりました。これは非連結グループ会社宛の貸付金の支出が貸付金の回収を上回ったことによることと、新規有価証券の取得があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の借り増し等により、25億13百万円の収入となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は停滞の様相が強くなっておりますが、我が国製造業は一般論として財務内容が強固であり、当社グループ顧客の各社においても省エネ、省力化投資や研究開発投資等は引続き高い水準で行われるものと予想しております。

従って、平成21年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成20年8月19日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理  
税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、主として低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

当該変更の結果、損益に与える影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	818,498	911,889
受取手形及び売掛金	10,425,087	8,538,665
有価証券	100,000	—
商品及び製品	303,876	251,887
仕掛品	399,481	293,542
原材料	793,824	759,050
その他	1,154,244	609,568
貸倒引当金	△21,071	△13,547
流動資産合計	13,973,942	11,351,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,454,480	2,454,480
その他	745,808	697,134
有形固定資産合計	3,200,288	3,151,614
無形固定資産		
	99,736	105,998
投資その他の資産		
投資有価証券	597,347	693,185
その他	316,023	359,210
貸倒引当金	△17,233	△46,437
投資その他の資産合計	896,138	1,005,958
固定資産合計	4,196,163	4,263,571
資産合計	18,170,105	15,614,628
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,459,625	7,436,077
短期借入金	2,600,000	—
未払法人税等	124,605	268,973
賞与引当金	225,857	136,543
役員賞与引当金	—	22,690
その他	295,441	310,121
流動負債合計	10,705,530	8,174,407
固定負債		
長期借入金	18,000	18,000
退職給付引当金	37,209	34,426
役員退職慰労引当金	94,890	84,230
負ののれん	2,543	2,906
その他	129,719	129,580
固定負債合計	282,362	269,143
負債合計	10,987,893	8,443,550

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,830,491	1,830,491
利益剰余金	4,050,397	4,032,476
自己株式	△336,766	△336,034
株主資本合計	6,985,562	6,968,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△59,672	△58,678
評価・換算差額等合計	△59,672	△58,678
少数株主持分	256,322	261,382
純資産合計	7,182,212	7,171,077
負債純資産合計	18,170,105	15,614,628

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,508,811
売上原価	6,466,650
売上総利益	1,042,160
販売費及び一般管理費	740,099
営業利益	302,061
営業外収益	
受取利息	4,678
受取配当金	607
仕入割引	14,873
持分法による投資利益	2,106
負ののれん償却額	363
雑収入	6,462
営業外収益合計	29,092
営業外費用	
支払利息	5,700
手形売却損	2,239
売上割引	3,538
雑損失	463
営業外費用合計	11,942
経常利益	319,211
特別利益	
固定資産売却益	31
貸倒引当金戻入額	16
特別利益合計	48
特別損失	
固定資産除却損	448
役員退職慰労引当金繰入額	8,875
投資有価証券評価損	108,733
特別損失合計	118,057
税金等調整前四半期純利益	201,202
法人税、住民税及び事業税	90,310
少数株主利益	7,205
四半期純利益	103,686

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	201,202
減価償却費	30,080
負ののれん償却額	△363
持分法による投資損益(△は益)	△2,106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,679
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,783
賞与引当金の増減額(△は減少)	89,314
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,690
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,660
受取利息及び受取配当金	△5,286
支払利息	5,700
有形固定資産売却損益(△は益)	△31
有形固定資産除却損	448
投資有価証券評価損益(△は益)	108,733
売上債権の増減額(△は増加)	△1,886,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△192,702
仕入債務の増減額(△は減少)	23,547
その他	△27,855
小計	△1,686,667
利息及び配当金の受取額	5,360
利息の支払額	△5,700
法人税等の支払額	△261,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,948,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△61,395
有形固定資産の売却による収入	70
無形固定資産の取得による支出	△2,782
有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△23,317
貸付けによる支出	△555,000
貸付金の回収による収入	84,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△658,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600,000
自己株式の取得による支出	△732
配当金の支払額	△85,853
少数株主への配当金の支払額	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,513,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△93,390
現金及び現金同等物の期首残高	911,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	818,498

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	インテリ ジェントFA システム事 業（千円）	IT制御・科 学測定事業 （千円）	その他の事 業（千円）	計（千円）	消去又は全 社（千円）	連結 （千円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	2,296,567	5,199,476	12,767	7,508,811		7,508,811
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,470	10,092	10,338	39,901	(39,901)	
計	2,316,037	5,209,569	23,106	7,548,713	(39,901)	7,508,811
営業利益	153,901	244,928	14,385	413,215	(111,154)	302,061

(注) 1 事業の区分方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。インテリジェントFAシステム事業はFAとITの融合領域を対象としたシステムインテグレーション並びに関連機器の開発を中核に事業を行っており、一方IT制御・科学測定事業は主に各種コンピュータ、分析機器、測定機器等の販売を行っております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
インテリジェントFAシステム事業	Webネットワーク生産管理システム、Linux関連システム、オープン制御システム、環境計測システム、土木掘進管理システム
IT制御・科学測定事業	各種コンピュータ、センサー及び周辺機器、各種制御機器、科学分析・測定機器
その他の事業	不動産賃貸等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無い場合、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結会計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	6,704
II 売上原価	5,738
売上総利益	966
III 販売費及び一般管理費	713
営業利益	252
IV 営業外収益	28
1 受取利息	5
2 受取配当金	4
3 仕入割引	14
4 その他	4
V 営業外費用	16
1 支払利息	6
2 手形売却損	0
3 売上割引	3
4 持分法による投資損失	5
5 その他	0
経常利益	265
VI 特別利益	19
1 投資有価証券売却益	15
2 その他	3
VII 特別損失	18
1 役員退職金	9
2 役員退職慰労引当金繰入額	8
3 その他	0
税金等調整前四半期純利益	265
税金費用	122
少数株主利益 (控除)	9
四半期純利益	133